



第41回例会

平成20年4月30日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1.開会点鐘
- 2.RCソング「奉仕の理想」
- 3.四つのテスト
- 4.来訪者紹介と会長挨拶
- 5.幹事報告
- 6.クラブフォーラム
- 7.各委員会報告
- 8.閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 5月21日(水) ゲストスピーチ(新世代・IAC委員会)
- 5月25日(日) 第6回福島南RCゴルフコンペ
- 5月28日(水) 16:00～成蹊高等学校IAC例会
- 5月31日(土) 地区会員研修セミナー(田村市 辰巳屋)

会長挨拶

武藤 正隆会長



こんにちは。恒例の俳句をお楽しみ頂きたいと思ひます。桃の花 活くるうすべり 敷きにけり(皆吉爽雨)

「活くるうすべり」の「うすべり」とは、活花等で、散り落ちる花や葉を後でまとめて処理するためにあらかじめ敷物のことのように、桃の花の蕾は大きくまた美しいものですが、蕾のままこぼれたりする蕾もまた一投と目立ちやすく美しいものです。

この句は、「蕾」も「こぼれた」の言葉も使わずに、「うすべり」の語から確かにこれを感じさせている慣れ切った詠みぶりの句と評されています。

去る4月24日に二本松市で実施された第1分区の

ロータリー交流会への移動例会の出席はご苦労さまでした。心から感謝申し上げます。

本日はクラブ管理運営委員会によるクラブフォーラムです。「ロータリー活動と財政」と題する大切なテーマについてのフォーラムですので、皆様の活発な質問や考え方を述べていただき、ロータリーの財政に関する理解をより深めて頂きたいと思ひ、企画致しました。

クラブフォーラム

クラブ管理運営委員会委員長 紺野仁昭様



提出戴きました。

宍戸清和パスト会長による『クラブの運営と予算及び今後のあり方について』と題して、過去6年間の財政資料をご提示戴きました。宍戸パスト会長は、ロータリーの奉仕の理想が、未来に向けて受け継がれ世界の繁栄を築くとの信念で問題提起をされました。



第42回例会

平成20年5月7日(水)
サンパレス福島

会長挨拶

武藤 正隆会長



菜の花や 月は東に 日は西に(蕪村)
何の解説もいらぬほど有名な句です。

福島市内の畑一面に菜の花がを高くとうを立てて十字花を咲せる黄色と、麦畑の青色、れんげ花の赤色と、桃の花の桃色を混ぜ合わせた春景色は、日ごろから当たり前として見慣れているのですが、私たち凡人にはただただ「わあ、きれい！」で終わってしまいます。

蕪村の手にかかると、一面を菜の花で塗りつぶした景色に、日輪は西の空に傾いているが反対の東の空にはもう大きな月が昇っているという大景をたった5・7・5の句でまとめあげるといふ見事な腕前の句となる訳で、蕪村がいかに立派な画家としての構想力を持っている歌人であるかを改めて感じさせられます。

本日は、当クラブが大変お世話になっております都道彦ガバナー補佐をお迎えしての貴重なスピーチを戴きます。皆様と共に暖かい感謝の気持ちをこめて歓迎したいと思います。

本日のお客様



都道彦ガバナー補佐、齋藤武二幹事、山村忠広幹事、金子與志邦福島西RCパスト会長、三本杉栄広福島東RCパスト会長

『ロータリーの友』読みどころ 佐久間 功様

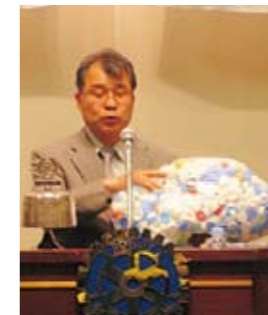


今回も、佐久間功会員には、『ロータリーの友』をご熟読いただき、丁寧なご説明と、さらに会員が、もっと読みたいくなるような真心こもった解説を頂きました。

ありがとうございました。

新世代委員会

高橋和之委員長



ペットボトルのキャップを、こんなに戴きました。さらに、募集中です!!



創業記念表彰



受賞者：植木 洋司様、齋藤建一郎様、佐藤 雅弘様、鈴木 定男様、林 克重様、福田 順一様、横山りつ子様、吉田 和義様

ガバナー補佐スピーチ

都道彦ガバナー補佐



今回のスピーチでは、2つ話題からロータリアンとしての生き方について、お話いただきました。

1つ目は、子どもたちの話です。現代の日本の子どもたちを見ていると、日本の平和を改めて実感する。第2次世界大戦下のレニングラードでの母子とその兄弟のパンについての思いやりに溢れた話をされました。極限状態にある子どもたちが、亡くなった妹を想ってパンを遺影に供える心と、ロータリアンの奉仕の心は通じるものがあるという内容でした。

2つ目は、指導者(リーダー)論です。上杉謙信と武田信玄などの例を挙げながら、大きく2つの型がリーダー像としてあり、1つは大将型、もう1つは農耕型。大将型は先見の明が必要、よって、情報収集能力に優れ、決断力とカリスマ性が備わる。農耕型は、地域の長老。自己犠牲型、人格円満型といえるとのことでした。

日本の明治維新の頃は、大将型、現代は農耕型。

ロータリアンとして、自らが経営する企業について、振り返ることが出来るという内容でした。